



HULFT Squareサービス紹介資料

- HULFT Squareとは
- HULFT Square ユースケース
- HULFT Square 機能
- HULFT Square 機能詳細
- 価格構成
- 関連Webサイト

HULFT Square(ハルフトスクエア)とは

企業内外のあらゆるデータを収集/統合/連携する
クラウド型データ連携プラットフォーム



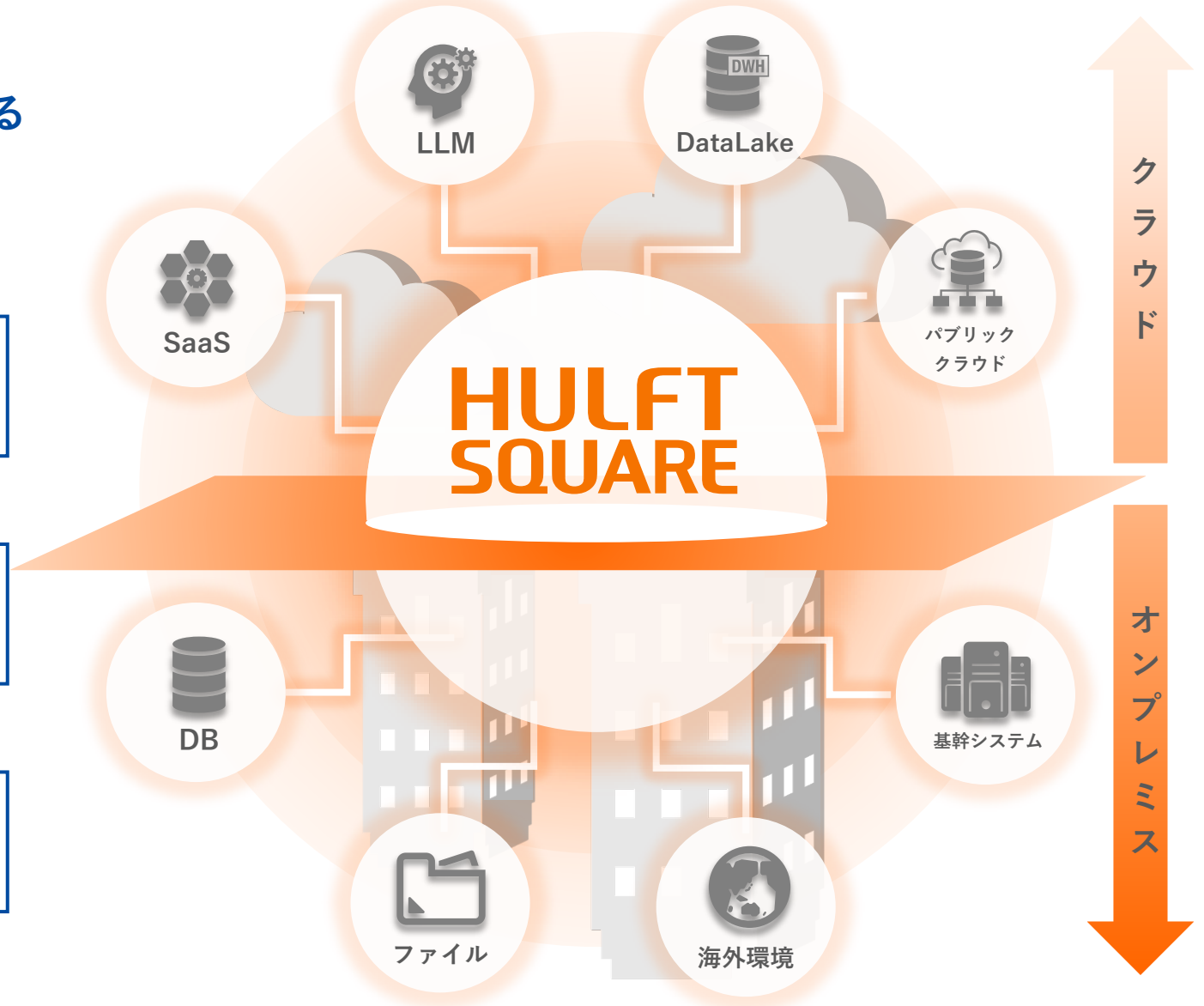
オンプレミスやマルチクラウドに分散して
管理されるさまざまなデータの連携を一元化



必要になったときにリソースを増やせるため
すばやいビジネス判断を可能に



HULFT連携機能でレガシーシステムとも接続
既存資産を生かしたデータ連携を実現



HULFT Square(ハルフトスクエア) できること

データを“安全・安心”に連携するサービスプラットフォーム

HULFT Square = ファイル転送のHULFT × データ連携のDataSpider × マネージドサービス

オンプレミスやマルチクラウドに分散して管理されるさまざまなデータの連携を一元化

必要になったときにセルフサービスでリソースをすぐに増やせるため、すばやいビジネス判断を可能に

国・業種を超えた
ビジネス連携



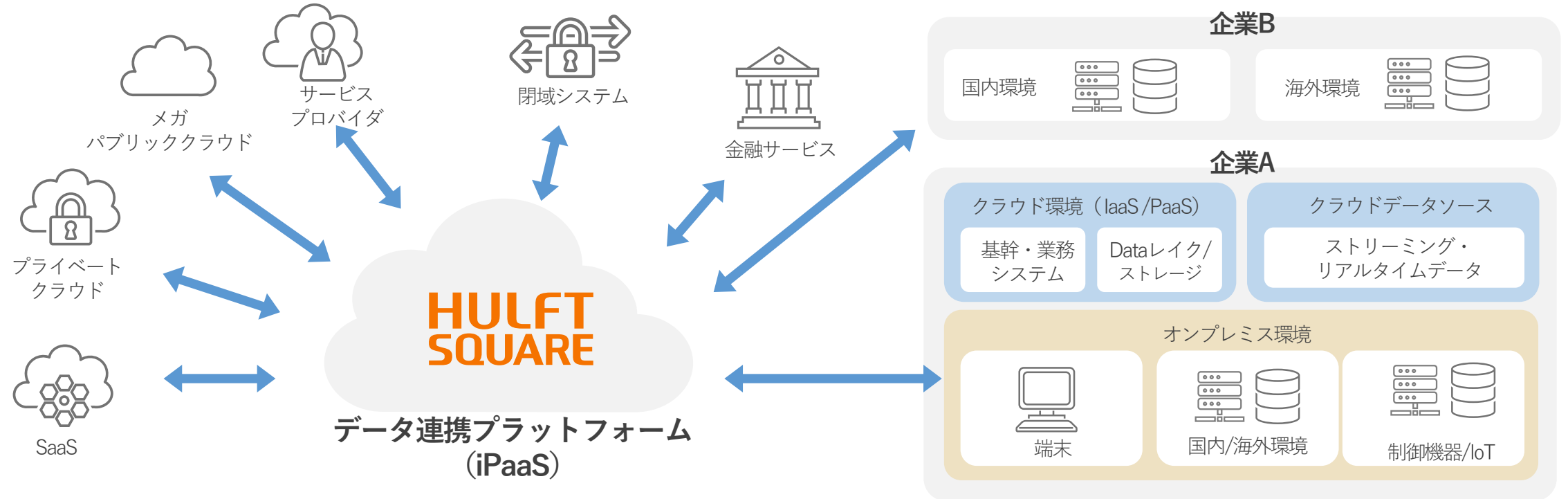
データ分析基盤



売上拡大のための
データ見える化



マスターデータ
マネジメント



01



クラウド・オンプレミス連携

オンプレミス・クラウド・SaaSまで、
幅広いシステム連携に対応

02



プログラミング不要

異なるデータ形式や文字コードも、
ノーコードで変換・加工

03



多様なSaaSと連携

豊富な専用コネクタで、
SaaS連携をスピーディーに実現

04



高度なセキュリティ

セキュアな連携基盤で
ガバナンス強化

05



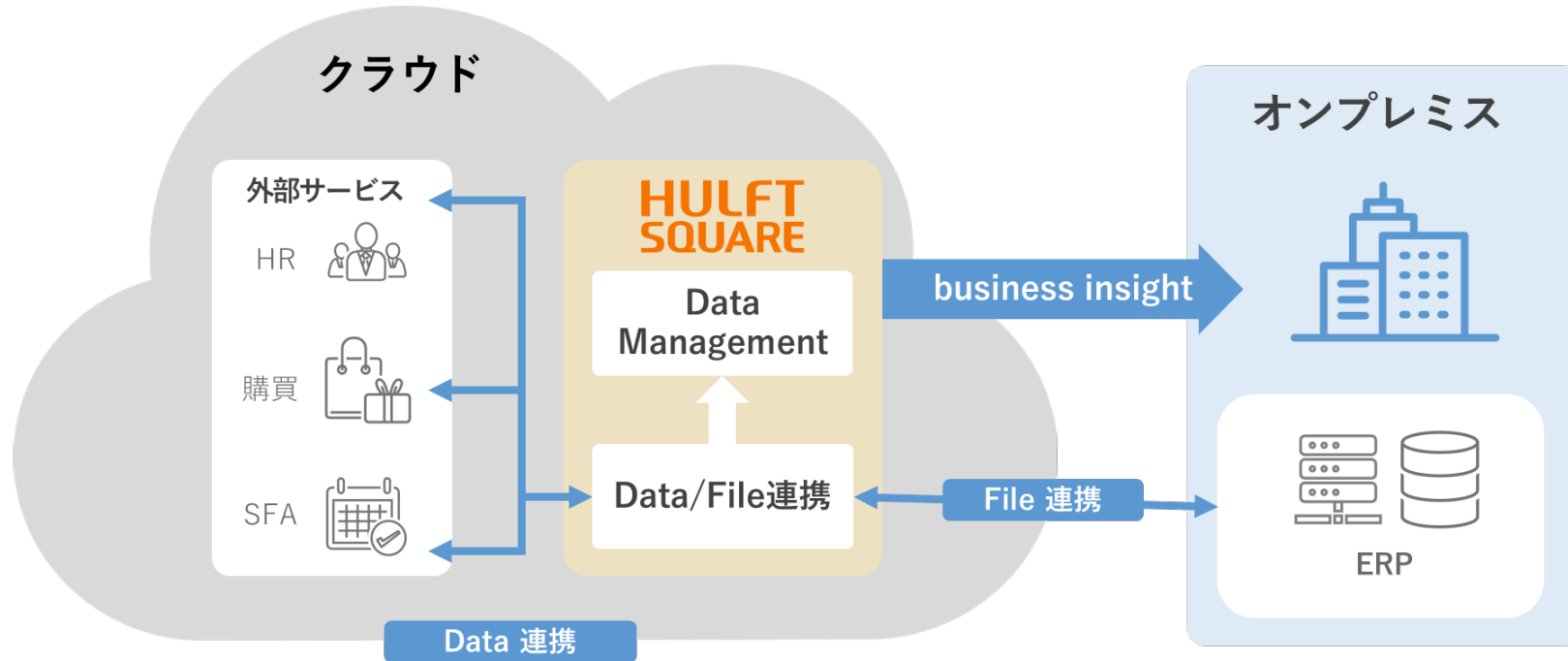
段階的に拡張可能

システム停止不要。
スモールスタートで段階的に拡張可能

ユースケース 1

自社業務のDXを進めるためのIT基盤として活用

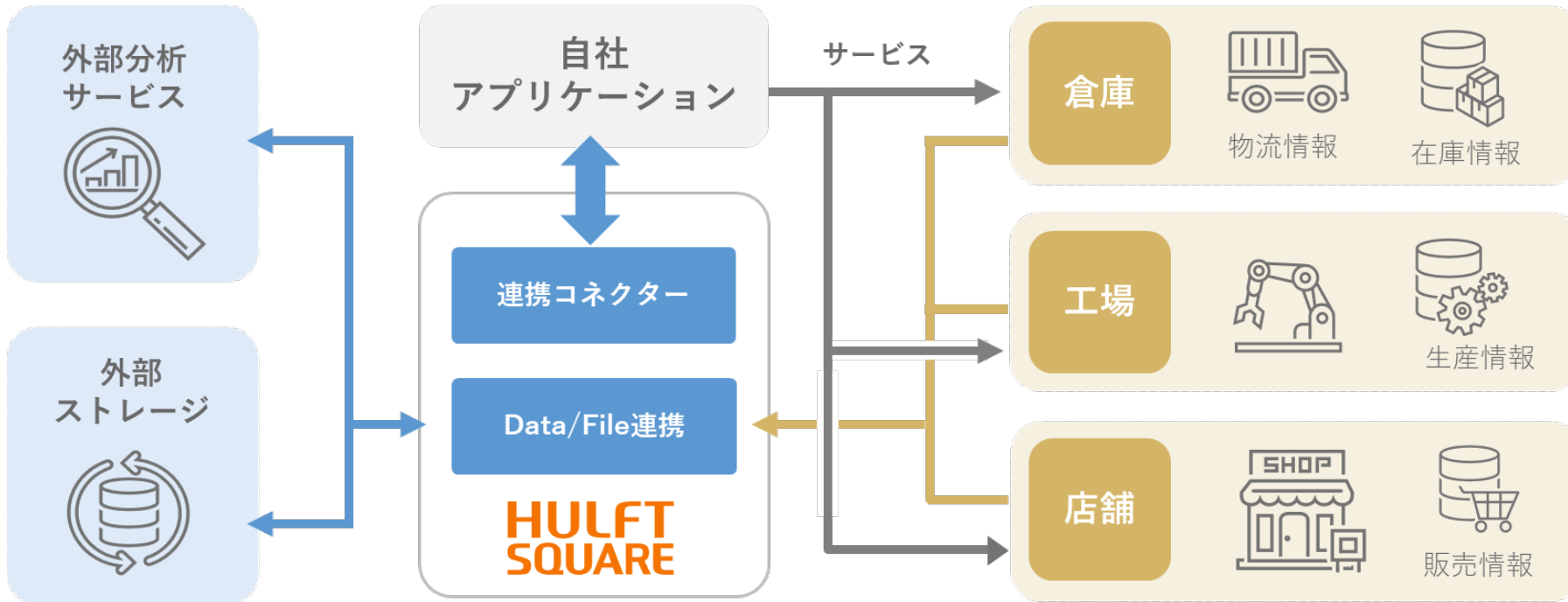
オンプレミスの基幹システムと、各部署で利用しているSaaSのデータが分散していると、情報活用や業務効率化の妨げになります。HULFT Squareなら、異なるシステムやデータ形式をスムーズにつなぎ、社内データの一元化と活用を実現します。



ユースケース 2

外部向けビジネスの付加価値を高めるための機能群として活用

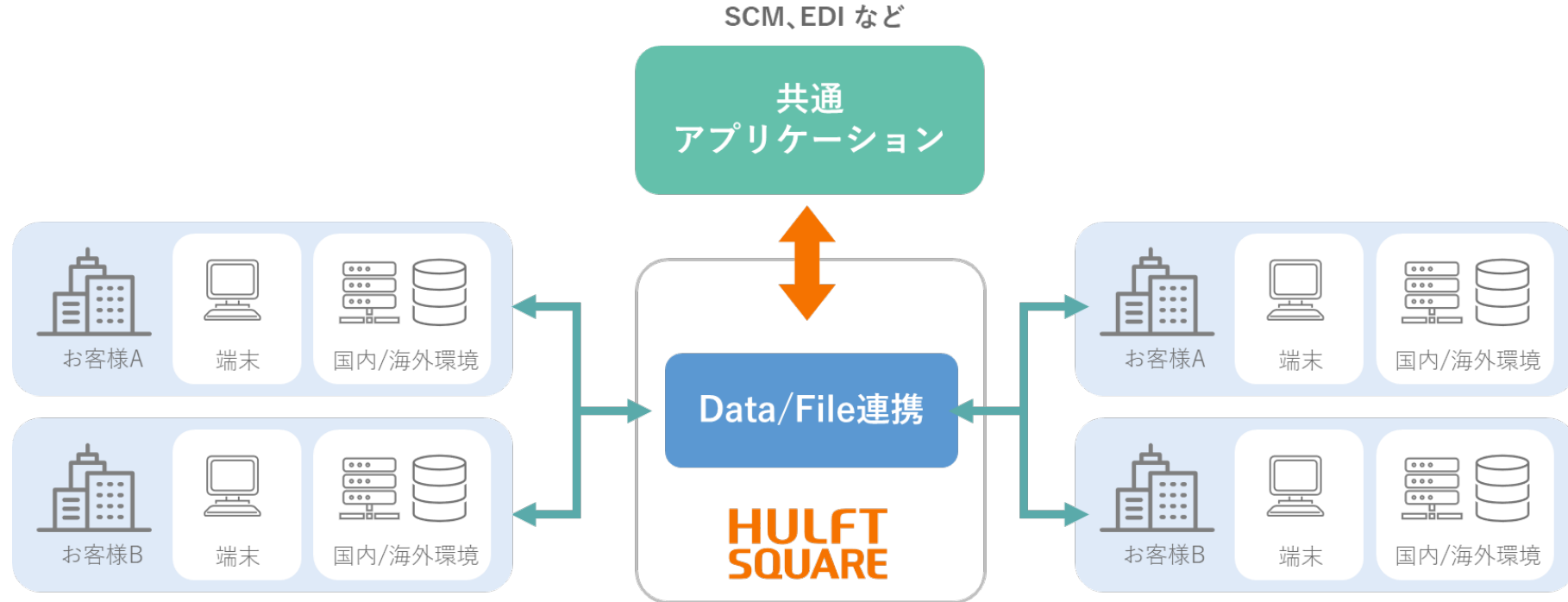
工場や店舗ごとに管理されているデータを手作業で集約していると、タイムラグや入力ミスが発生しやすくなります。HULFT Squareは、スケジュールやイベントを起点にデータを自動収集・更新し、迅速で信頼性の高いデータ活用を支援します。



ユースケース 3

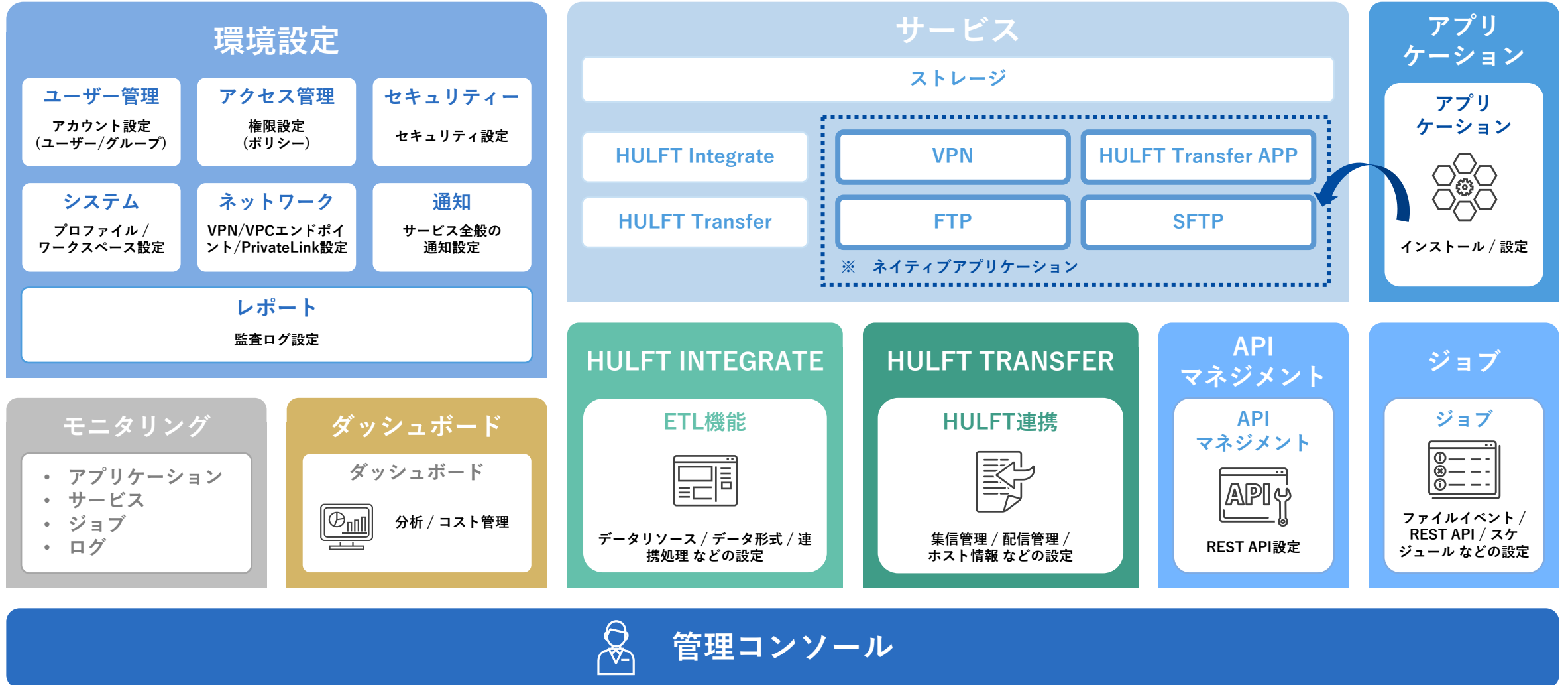
他社とのビジネス連携プラットフォームとして活用

取引先ごとに利用システムやデータ形式が異なる場合でも、HULFT Squareを共通連携基盤として活用することで、安全かつスムーズなデータ連携を実現できます。企業間のデータ授受を効率化し、運用負荷の軽減にもつながります。



HULFT Square 全体構成

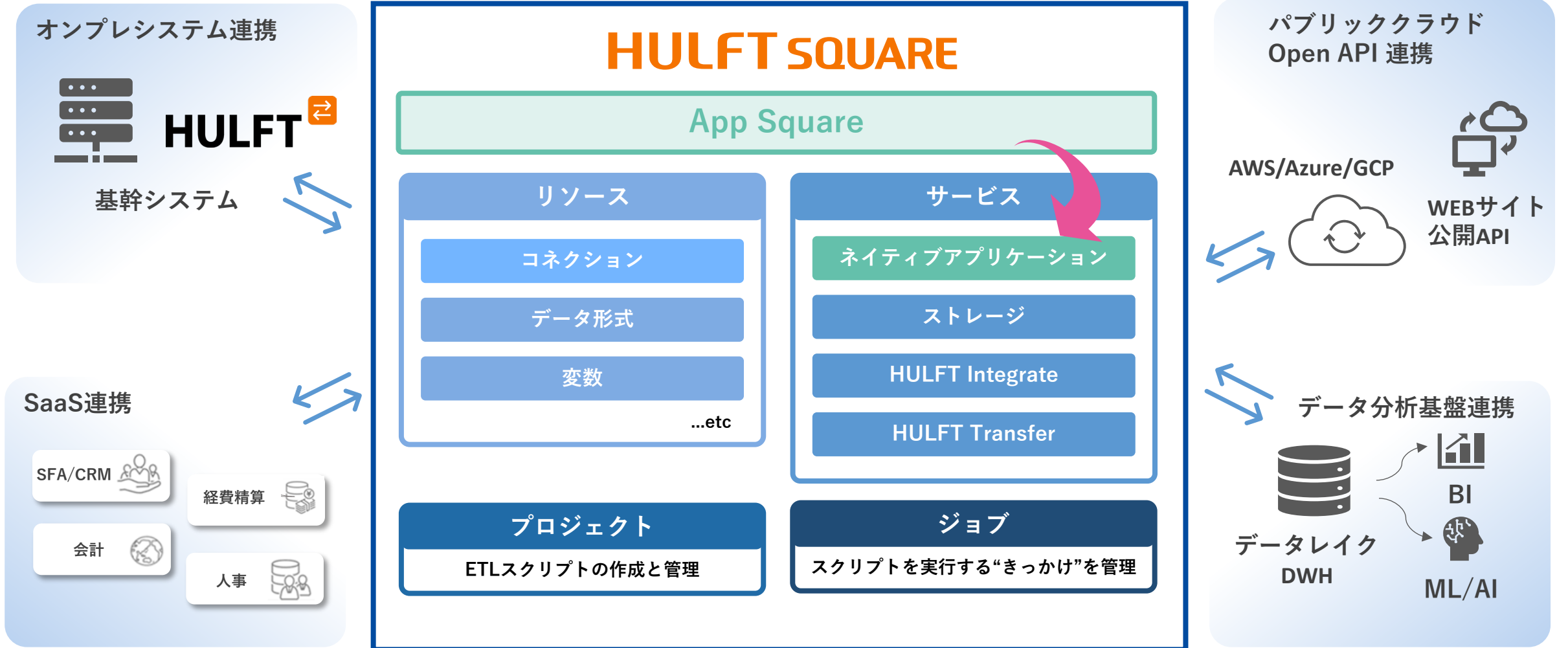
HULFT Squareでは管理コンソールを使い、各種環境の設定やサービスの設定を行います。



※ ネイティブアプリケーションは有償アドオンでありインストールが必要です。

HULFT Square 機能概要

DX推進のためのファイル転送・データ連携機能をフルマネージドサービスで提供



機能ポイント

機能ポイント

1 シンプルな操作性

データ連携ツールである「DataSpider」の操作性を継承したシンプルかつ直感的な操作で、スピーディかつ効率的にデータ連携処理を実装できます。

2 データ連携の容易性

- ✓ SaaSサービス「専用コネクター」や「汎用コネクター」で接続先を柔軟に拡張
- ✓ 「HULFT連携」によるレガシーシステムとの連携
- ✓ 「アプリケーション機能」によるデータ連携の標準化と柔軟な活用

3 適正な稼働環境

お客様環境に応じて、適正なスケールを選択し、柔軟なスケールアップやスケールダウンが可能

処理の稼働環境は、ご契約のリソース範囲内で自由に分割可能。

- ✓ 「本番環境」と「テスト環境」を分割して利用したい場合
- ✓ 利用する部門毎に、利用環境を分割したい場合

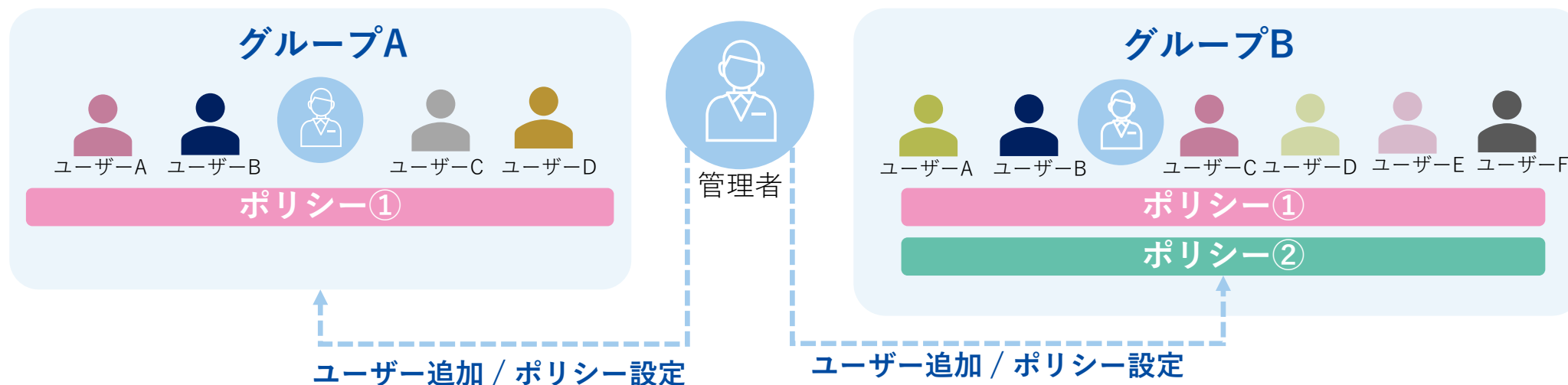
4 データプライバシー・コンプライアンス準拠

「GDPR」「CCPA」に準拠したデータプライバシーの保護を実践。
「SOC2」要件に準拠したセキュリティと可用性の担保。

お客様の利用環境に応じて柔軟に活用できる機能と、サービス運用において必要なセキュリティを提供。

ユーザー管理 / アクセス管理

HULFT Squareでは、管理者がユーザーをグループにまとめて管理します。
また、ユーザーが所属するグループにポリシーを適用することでユーザーの特権を管理します。



Point

管理者は「**グループに対してポリシーを付与**」することで、**グループに所属するユーザーに権限を付与**します。

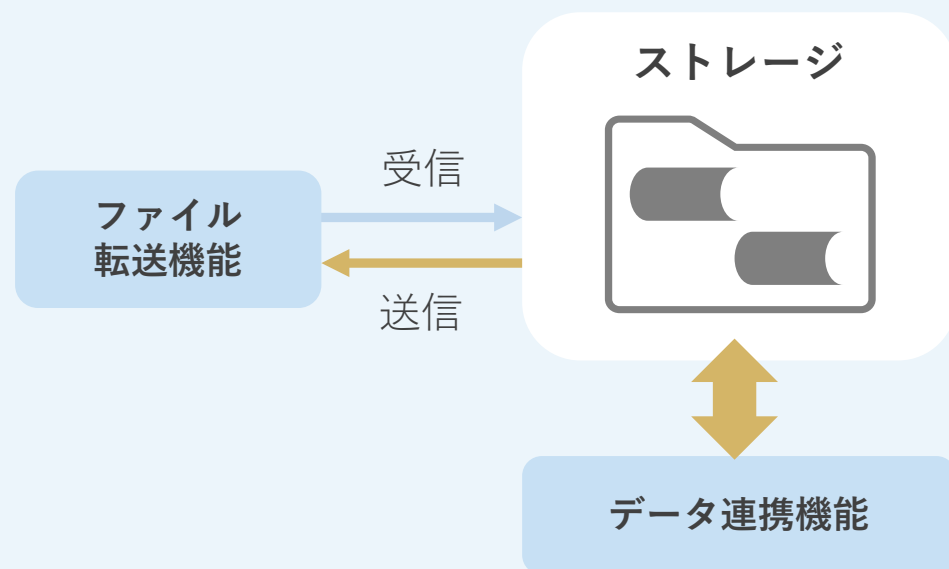
※詳細は公式ドキュメント [【公式】ポリシーと権限の一覧](#) をご参照ください。
※ポリシー定義は個別設定、もしくは定義済みのポリシーを設定可能です。

サービス（実行環境）設定

システムの稼動環境は、適正なスケールの選択と柔軟なスケールアップやスケールダウンが行えます。
処理の稼動環境は、ご契約のリソース範囲内で、自由に分割することが可能です。

ストレージ

データ連携機能・ファイル転送機能で利用する
一次データ領域



実行環境設定

データ連携機能実行環境（※実行環境：インスタンス）

例）お客様契約の処理環境を分割して利用可能

お客様ご契約実行環境

vCPU数：6 MEM：12GB

本番環境
vCPU数：4
MEM：8GB

開発・テスト
vCPU数：2
MEM：4GB

ファイル転送機能実行環境

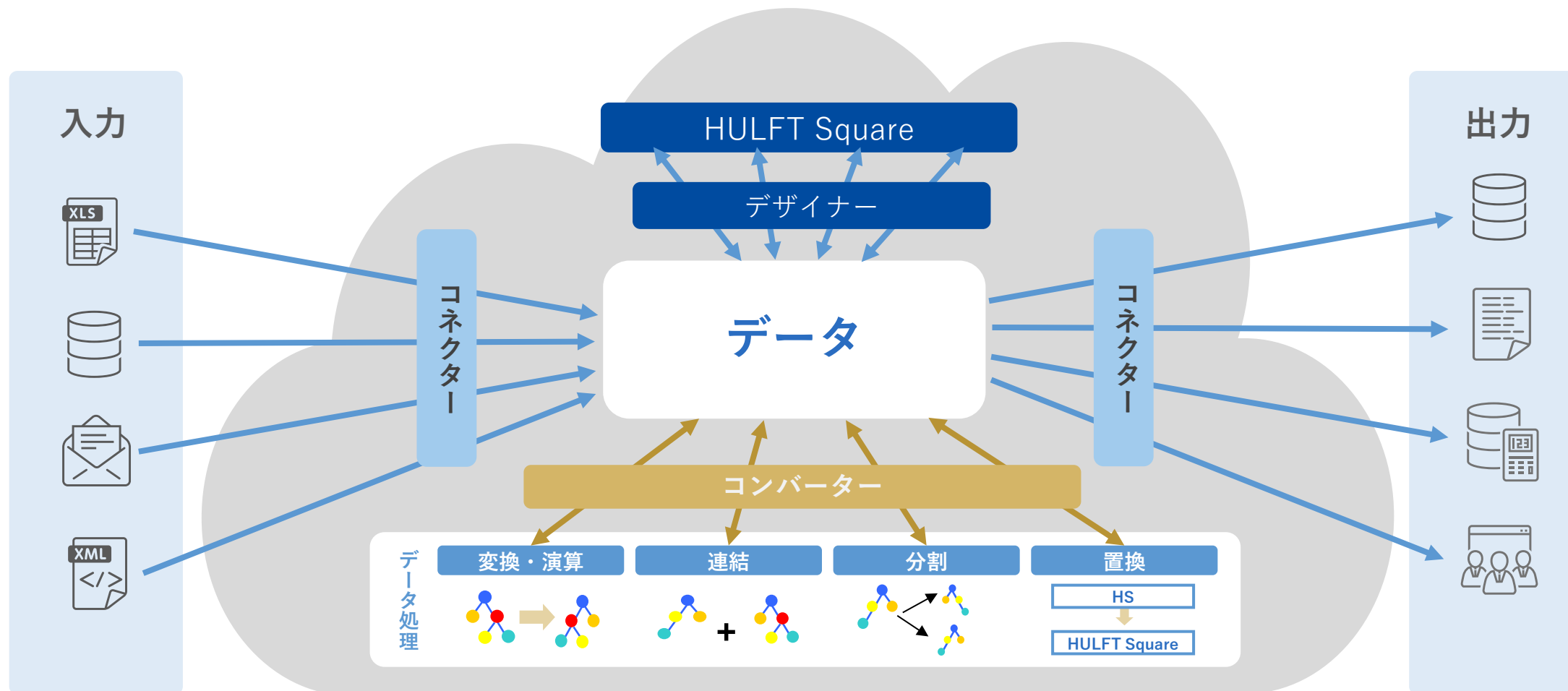
HULFT集信・HULFT配信の実行環境の設定

HULFT集信
実行環境

HULFT配信
実行環境

HULFT INTEGRATE

各種のソースからデータを抽出・結合し、形式を変更し、保存先にデータを格納する機能です。
各リソースの仕様の知識がなくても、コネクタを使用してさまざまなリソースのデータを処理できます。



※ INTEGRATEサービスから各接続先サービスとの連携は、AWS PrivateLinkやAPI連携、インターネット連携になります。各コネクタでの対応可否等は[マニュアル](#)をご参照ください。

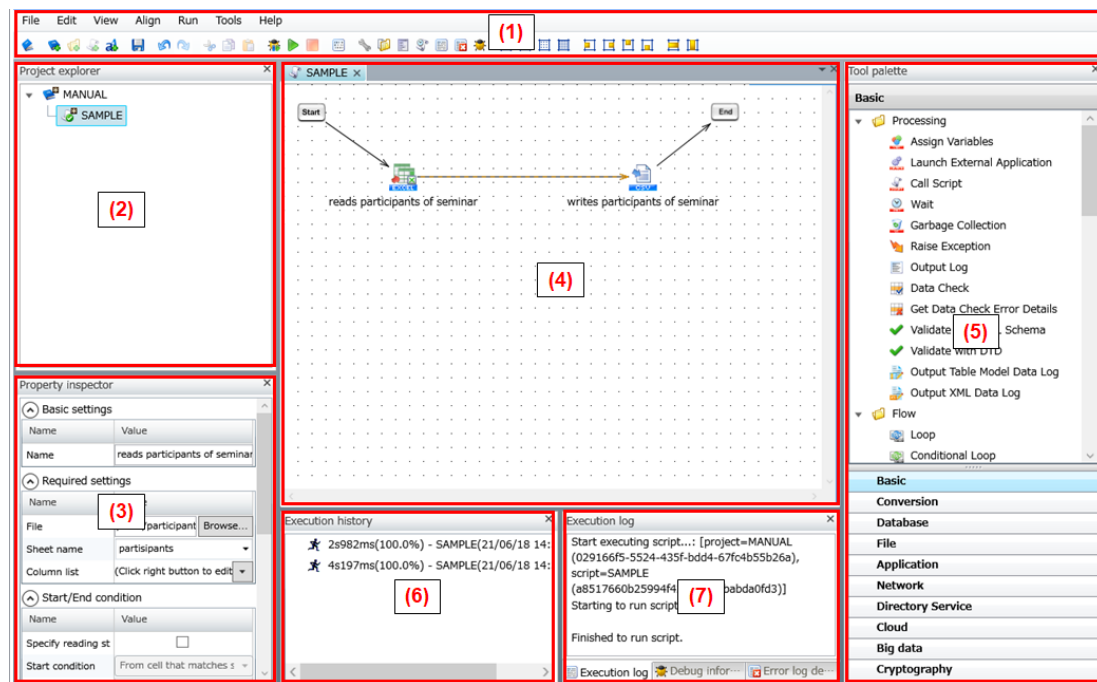
HULFT INTEGRATE

開発環境：デザイナー

ETLスクリプトの開発、実行、およびデバッグは「デザイナー」でグラフィカルに行います。

コードを記述する必要はありません。アイコンをドラッグして設定するだけで、データに接続することができます。

使いやすさに定評がある DataSpider ライクなユーザーインターフェースにより、直感的な操作でデータ連携を実現できます。



(1) メニュー

デザイナーの基本操作を行うための各種メニューおよびツールバーが表示されます。

(2) プロジェクトエクスプローラ

スクリプトやフォルダの作成ができます。

(3) プロパティインスペクタ

スクリプトキャンバス上に作成される各種コンポーネントアイコンが設定できます。

(4) スクリプトキャンバス

各種コンポーネントアイコンをツールパレットからドラッグ&ドロップで配置して使用します。

(5) ツールパレット

スクリプトキャンバスでのフロー作成に必要な各種コンポーネントアイコンが表示されます。

(6) 実行履歴

デバッグモードでスクリプトを実行した際に、処理時間や処理の割合などを表示します。

(7) 実行ログ

デバッグモードでスクリプトを実行した際の、実行ログを表示します。

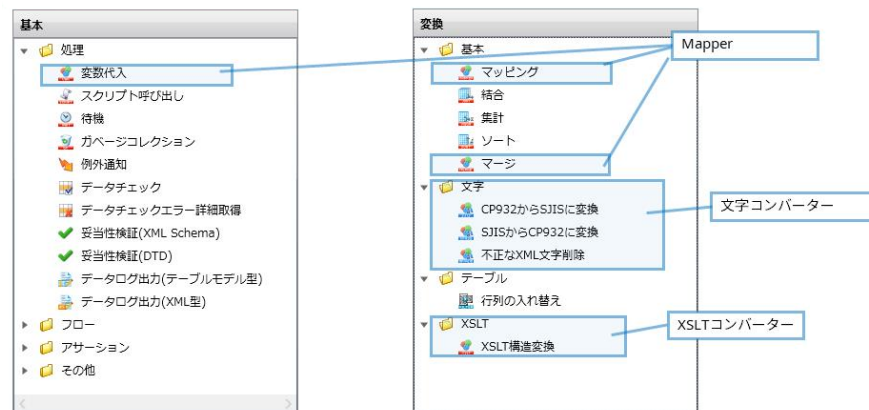
HULFT INTEGRATE

コンバーター

コネクタで読み取った結果データや変数を変換するためのコンポーネントです。

以下の種類のコンバーターが用意されています。

- Mapper
- 文字
- XSLT

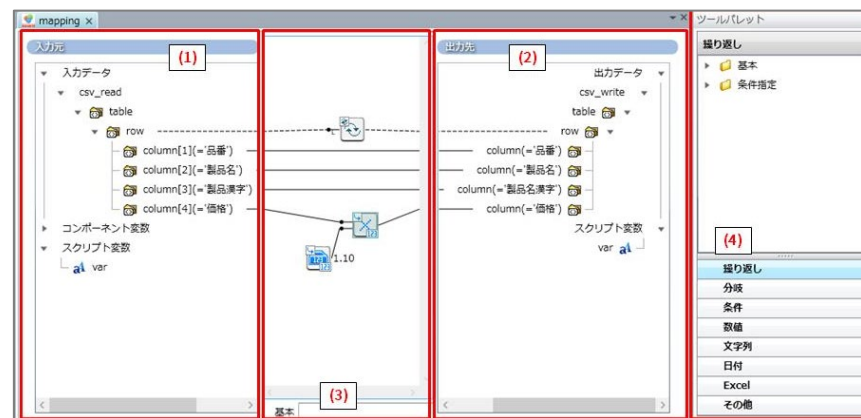


Mapper

入力データと出力データ間のデータ変換は、Mapperエディタで定義します。

読み取ったデータを変換・加工したり、変数に代入したりを、ドラッグ&ドロップで簡単に行えます。

(1)	入力元	入力元として使用できるコンポーネントのスキーマや変数が表示されます。
(2)	出力先	出力先として使用できるコンポーネントのスキーマや変数が表示されます。
(3)	マッピングキャンバス	マッピング定義を作成するキャンバスです。
(4)	ツールパレット	Mapperロジックがカテゴリごとにツリー構造で表示されます。



HULFT INTEGRATE

ジョブ

スクリプトを実行する“きっかけ”をジョブとして設定できます。
たとえば、次のようなイベントをきっかけにしてスクリプトを実行することができます。

ジョブ	起動タイミング
ファイルイベント	ファイルの作成 または更新された場合
スケジュール	スケジュールされた 時刻に達した場合
HTTP REST	HTTP要求を受けた場合
HULFT Transfer	HULFTからの通知を受けた 場合

アプリケーション

[メイン] > [ジョブ] > [アプリケーション] から、
アプリケーションの起動状況の一覧が確認可能。

HULFT SQUARE

ジョブ > **ファイル イベント ジョブ**

ワークスペース: **hsq_test**

+ 追加

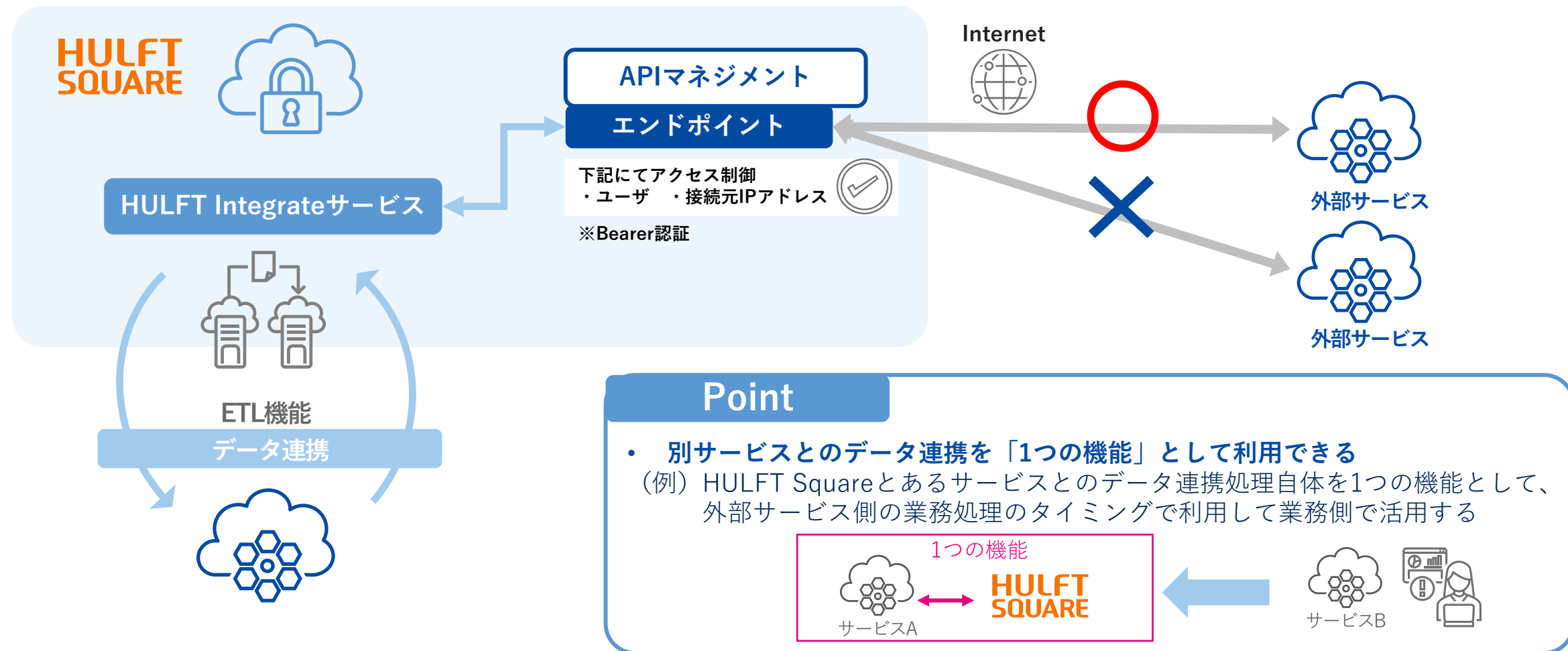
ステータス	名前	プロファイル	ワークスペース	監視対象ディレクトリー	監視対象ファイル	プロジェクト
▶	Survey Responses	Default	hsq_test	/hsq_test/TEST	data.txt	S3_demo
▲	S3_File_Job	TEST_S3	hsq_test	/hsq_test/TEST	data.tx	

1 / 1

情報
ジョブを無効化
実行履歴
アプリケーションの新規作成
削除

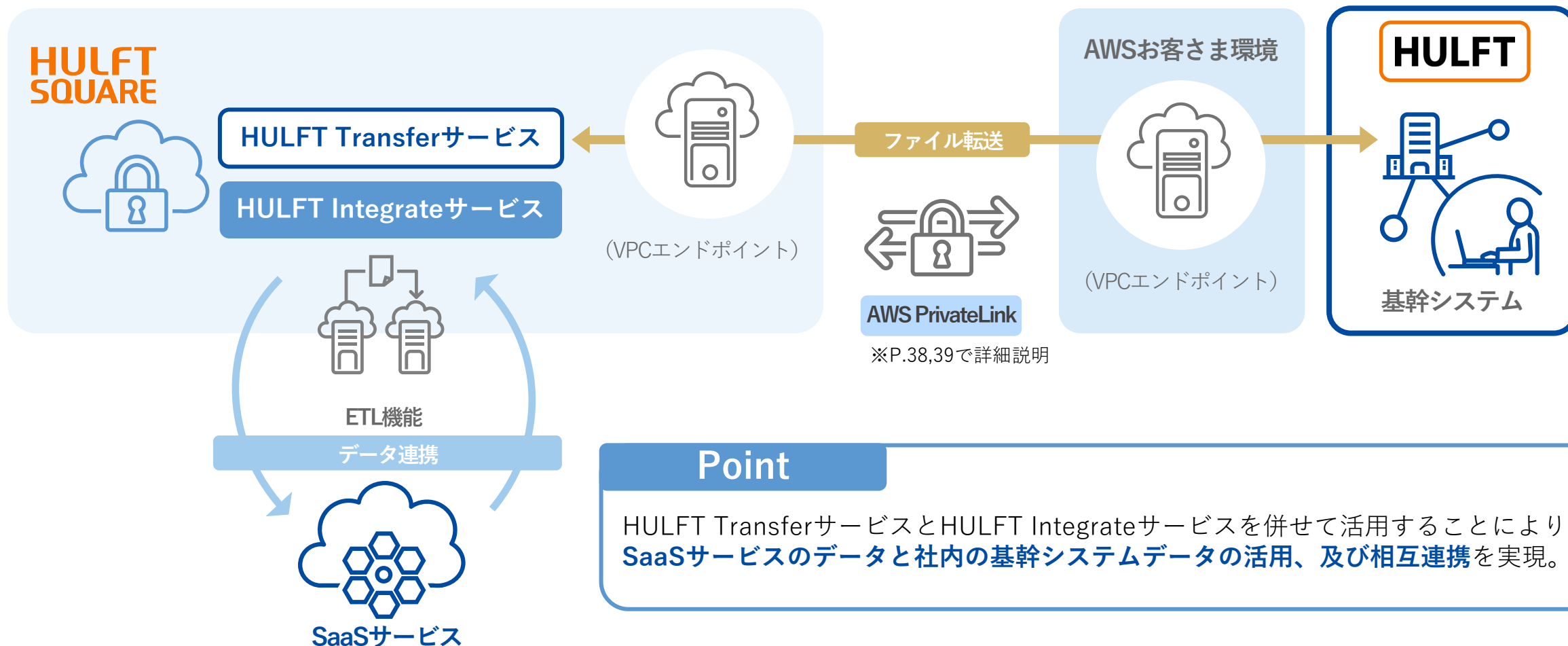
APIマネジメント

HULFT INTEGRATEで作成したデータ連携処理をWeb APIとして公開する機能です。
これにより外部からインターネット経由で、HULFT Integrate内のデータ連携処理を呼び出すことができます。



HULFT TRANSFER

オンプレミス環境の **HULFTとファイル転送**を行う機能です。
社内の基幹システムにあるデータを、SaaSサービスに簡単に連携できます。



Point

HULFT TransferサービスとHULFT Integrateサービスを併せて活用することにより、**SaaSサービスのデータと社内の基幹システムデータの活用、及び相互連携**を実現。

※ HULFT連携での接続方式は、AWS PrivateLinkまたはVPN接続になります。詳細は[マニュアル](#)も併せてご参照ください。

HULFT TRANSFER (HULFTについて)

HULFTとのファイル転送を実現するHULFT Transferは、**HULFTの特長**を有しています。
「**安心・安全**」なファイル連携により、**業務システムの安定運用**を支えます。

特徴
01

マルチプラットフォーム対応

- 異なるプラットフォーム間での操作性の統一

特徴
02

様々なファイル形式に対応

- テキスト、バイナリ、フォーマット

特徴
03

データの集配信

- ネットワーク負荷軽減
- エラー時の対処
- 異機種間の文字コード際の吸収
- 多彩な転送方法

特徴
04

高度なセキュリティ

- HULFT暗号、AES暗号
- データの欠落、改ざんチェック
- 不正アクセスの防止
操作ログ出力

特徴
05

システム管理

- 転送履歴、転送情報管理
- リモート一括管理

特徴
06

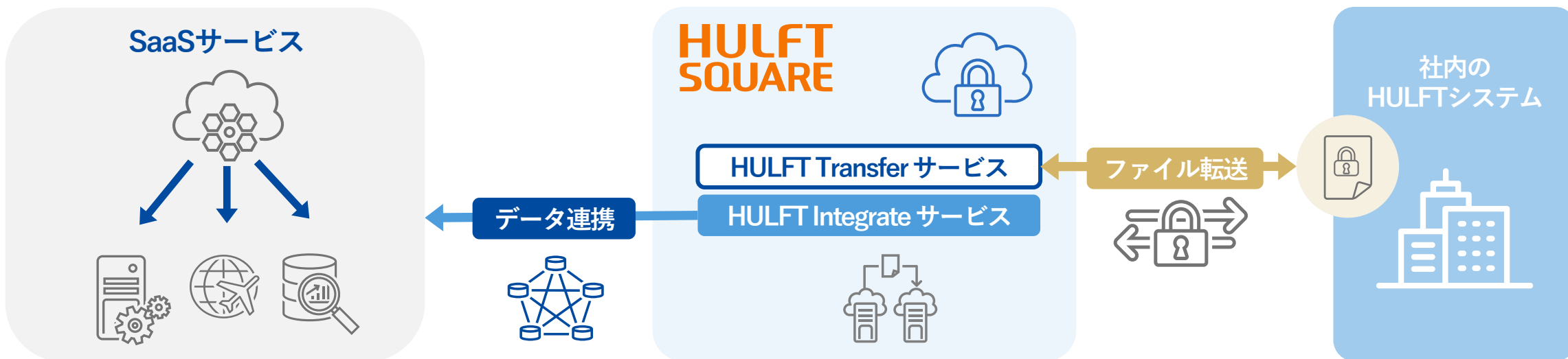
運用の自動化

- 業務処理との連携
(ジョブ起動)

HULFT TRANSFER 利用シーン①

社内システムのクラウド移行

稼働中の社内システムの変更や資産の追加をせずに、クラウド環境へ移行することができます。
HULFT SquareのETL機能や各種管理機能も利用できます。



課題

- ✓ 現在利用している業務システムは各種業務との関連性が高く影響範囲が大き過ぎるため、変更を加えたくない
- ✓ クラウド移行したいデータは、SaaSサービスを活用してデータ分析や別サービスでの利用を進めたい

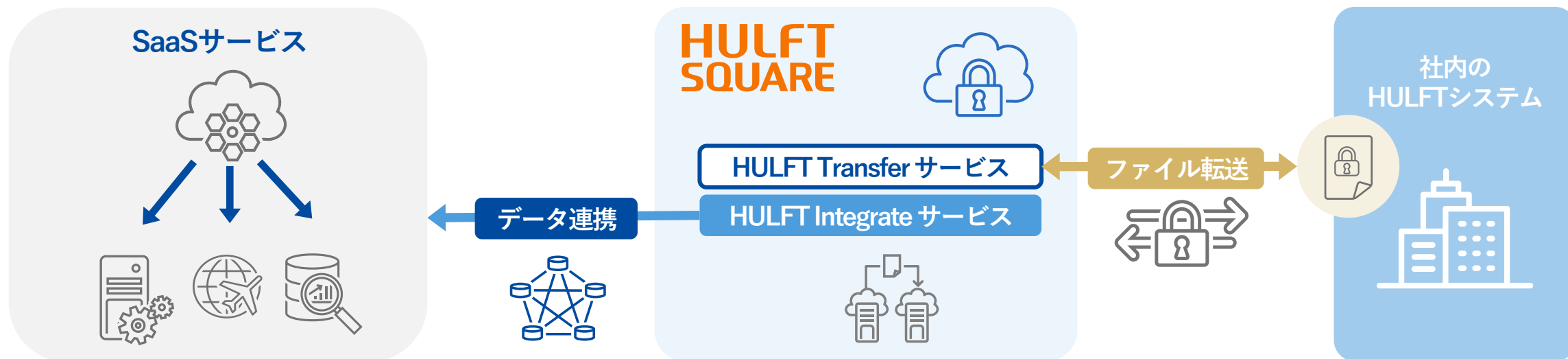
解決

- ✓ **HULFT Transfer**を利用したファイル転送により、既存システムに変更を加えず**クラウドへのデータ移行**を実現
- ✓ HULFT Square内でデータ加工をして、**コネクター**を利用して様々な外部サービスとのデータ連携が可能です

HULFT TRANSFER 利用シーン②

クラウドを活用した社内データの分析 / 活用

社内システムに蓄積されたデータをクラウドストレージに集約し、分析など有効活用する仕組みを簡単に構築します。AWS、Azure、Googleなど各クラウドサービスの各種サービスの活用を推進します。



課題

- ✓ 社内システムで蓄積されている業務データを活用することができていない
- ✓ データ活用を進めたいがまずは仕組みづくりをするための検討やシステム導入などのハードルが高い

解決

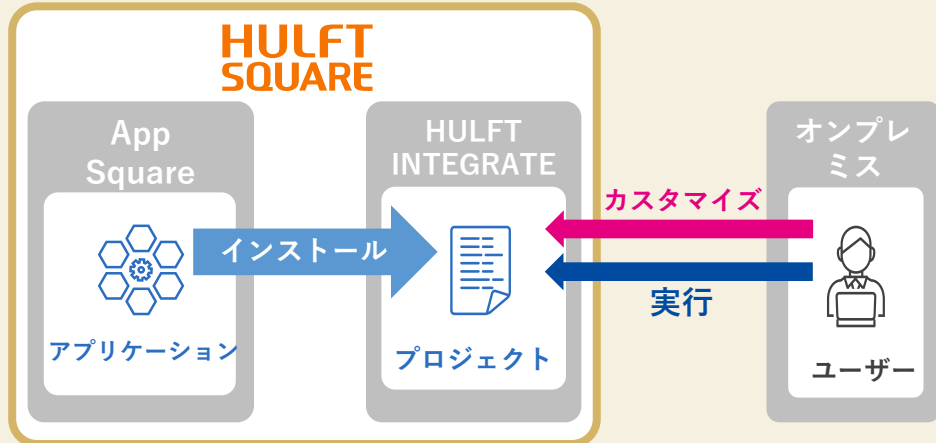
- ✓ **HULFT Transfer**を利用して、社内システムのデータを吸い上げ、**HULFT Integrate**でデータ加工、各サービス連携ができる「**データ活用の仕組み**」を構築
- ✓ サブスクリプション型のHULFT Squareで**スモールスタート**しながらデータ利活用を進めることができる

アプリケーション機能

■ アプリケーションストア「App Square」にて特定機能をアプリケーションとして提供します。

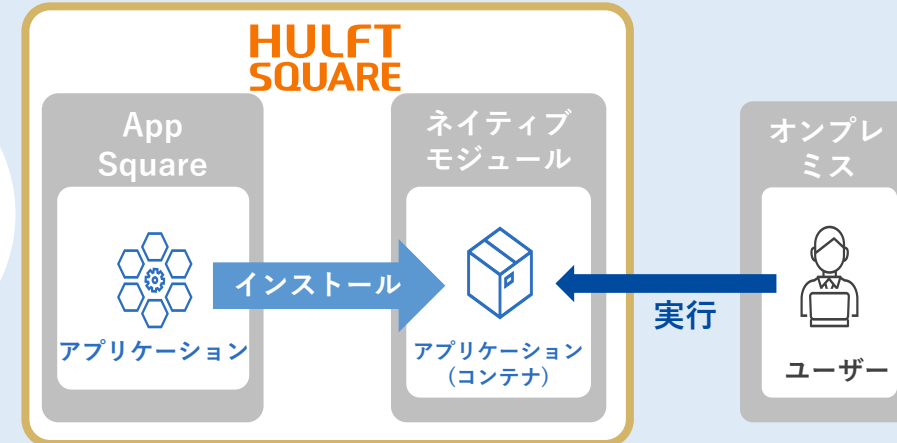
アプリケーション

プロジェクトとして提供されるアプリケーション
※業務用途に合わせてカスタマイズ（=同梱スクリプト編集）が可能。



ネイティブアプリケーション

コンテナとして独立したアプリケーション
(HULFT アプリケーション/ FTPサービス 等)



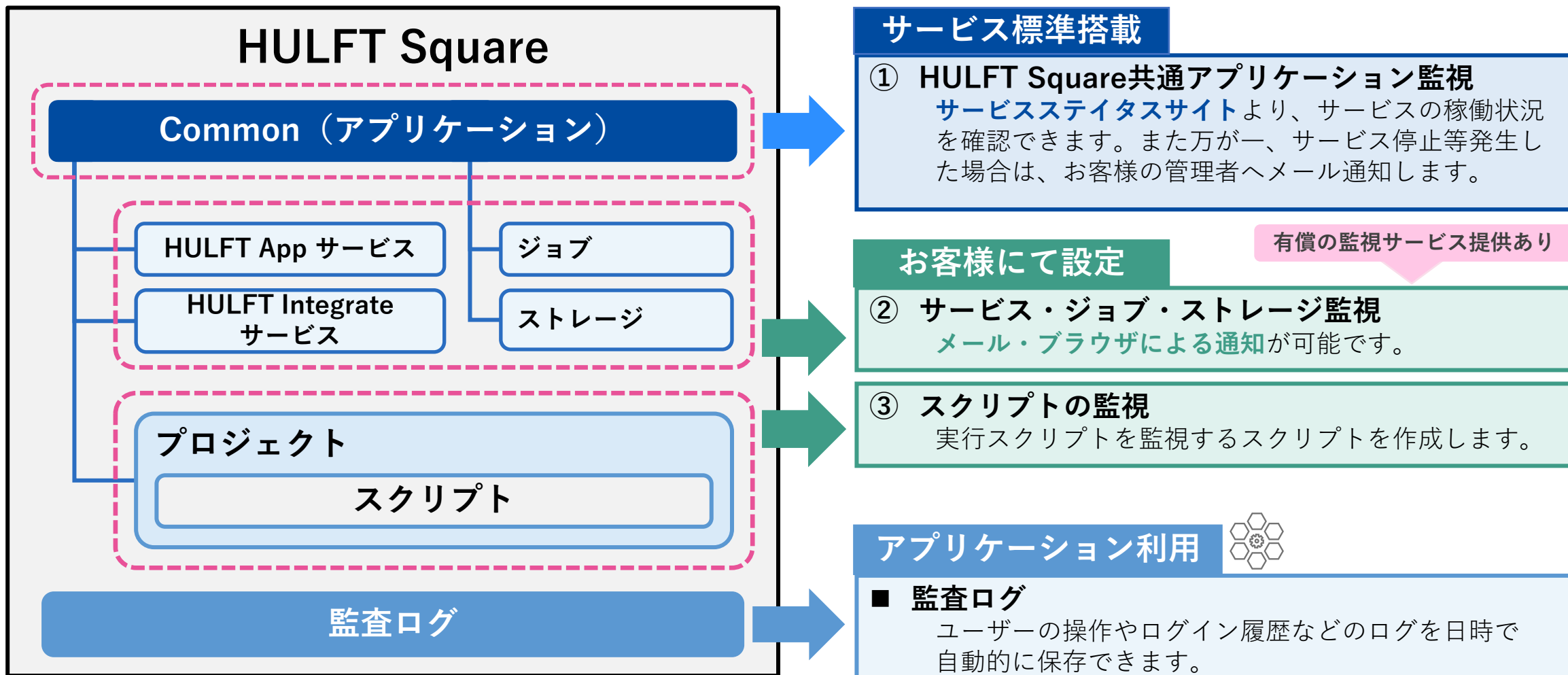
開発スキル標準化

柔軟性と可搬性

- ✓ アプリケーション提供により特定機能をそのまま活用し、開発標準化と属人化排除
- ✓ 業務用途に応じたカスタマイズにより、柔軟かつスピーディにデータ連携処理を実装

HULFT Squareの監視

監視対象によって3つのパターンがあり、監査ログの利用も可能です。



※ 詳細は、[公式オンラインドキュメント等](#)をご確認ください。

サポート

サクセスナビ

HULFT Squareをご利用するにあたり役に立つ情報を掲載しています。

使い始めてみよう

テクニカルサポートへの問い合わせ方法や命名規則、開発ルールなどの開発ガイドを掲載

つなげてみよう

コネクタの接続設定（接続先側の設定を含む）ガイドを掲載

活用しよう

ジョブの設定ガイドやプロファイル、スキーマなどの活用ガイド、エラーハンドリングのベストプラクティスを掲載

HULFT Squareアップデート

HULFT Squareのリリース情報や、リリース説明会の資料等を掲載

サクセスナビ

テクニカルFAQ

一般的なFAQ

基本情報

社内向けFAQ

使い始めてみよう

【開発ガイド】HULFT Square活用ガイド~効率的な導入と活用のために~

【開発ガイド】開発ルールや命名規則の策定について

HULFT Squareテクニカルサポートに問い合わせよう

つなげてみよう

【コネクタ-接続設定ガイド】HULFT Square コネクタ for Microsoft SharePoint

【HULFT Square 設定ガイド】PrivateLinkによるAWSとの接続

【コネクタ-接続設定ガイド】HULFT Square コネクタ for Google Cloud Platform

【コネクタ-接続設定ガイド】HULFT Square コネクタ for Microsoft Azure(Azure キュー ストレージ)

【コネクタ-接続設定ガイド】HULFT Square コネクタ for Microsoft Azure(Azure SQL Database)

【コネクタ-接続設定ガイド】HULFT Square コネクタ for Microsoft Azure(Azure Cosmos DB)

もっと見る >

活用しよう

【ジョブ設定ガイド】スケジュール ジョブ

【ジョブ設定ガイド】 【コネクタ-接続設定ガイド】HULFT Square Transfer設定ガイド

【活用ガイド】HULFT Square プロファイル

【活用ガイド】スキーマ

【活用ガイド】HULFT Integrate エラーハンドリング処理について

【ジョブ設定ガイド】ファイルイベントジョブ

もっと見る >

HULFT Squareアップデート

HULFT Squareリリース No.2024.2（2024年10月6日リリース）、No.2024.1.1（2024年7月28日リリース） アップデート情報のまとめ

HULFT Squareリリース No.2024.1（2024年6月2日リリース） アップデート情報のまとめ

HULFT Square アップデート 2023.4（2024年1月29日リリース） アップデート情報のまとめ

HULFT Square アップデート 2023.3（2023年9月24日リリース） アップデート情報のまとめ

サポート

テクニカルサポート

HULFT Squareをご利用中に問題が発生し、解決方法に関して確認や問合せをしたい場合は、下記の手順で類似事象の確認や問い合わせができます。

1 事象の類似問い合わせ内容を検索

- ✓ サポートセンターで調べたい「キーワード」で類似事象を検索してみる
- ✓ 公開されている過去FAQを参照してみる
「テクニカルFAQ」： サービス全般に関わる技術的なFAQ
「一般的なFAQ」： サービスのご利用や契約に関するFAQ

2 HULFT Squareテクニカルサポートセンターへの問い合わせ

- ✓ 下記より記入方法を確認の上、問い合わせチケットを作成する
[HULFT Square テクニカルサポートセンターへの問い合わせ記入方法](#)



HULFT Square 新プラン 価格構成について

基本
プラン
選択

ビジネス規模に応じて、基本プランをご選択ください。 ※プラン詳細についてはお問合せください。

Starter プラン

スモールビジネス向け
48万円～

- HULFT Squareリンク Ver.2
- 標準搭載コネクター 17個
- vCPU : 3 / メモリー : 6

Standard プラン

データ連携基盤
68万円～

- HULFT Squareリンク Ver.2
- 標準搭載 コネクター20個
- vCPU : 6 / メモリー : 12

Enterprise プラン

大規模データ連携基盤
120万円～

- HULFT Squareリンク Ver.2
- 標準搭載 コネクター23個
- vCPU : 10 / メモリー : 20

AI-Start パック

AI業務実行基盤
68万円～

- HULFT Squareリンク Ver.2
- 標準搭載 コネクター20個
- vCPU : 6 / メモリー : 12
- Agent Orchestration : 1

アド
オン
選択

ご利用状況に応じて、各リソースや機能追加をご選択ください。

実行環境

- vCPU、メモリー
- データ処理量
- ストレージ利用量 他

機能

- 選択コネクター
- HULFT Square リンク Ver.2
- FTPサービス 他

運用

- 24/365サポートサービス
- ラーニングサブスクリプション
- 運用監視Plus 他

※ 月度及び年度でのご契約が可能です。ご契約以上のご利用（超過）が発生した場合、超過分に対して別途お支払いが発生いたします。

各種コンテンツ

HULFTシリーズ - HULFT Square

OPEN

HULFT公式サイトです。最新の導入事例や、オンラインマニュアルなど、製品に関する様々な情報を提供しています。

<https://www.saison-technology.com/service/product/lineup/hulft-square/>

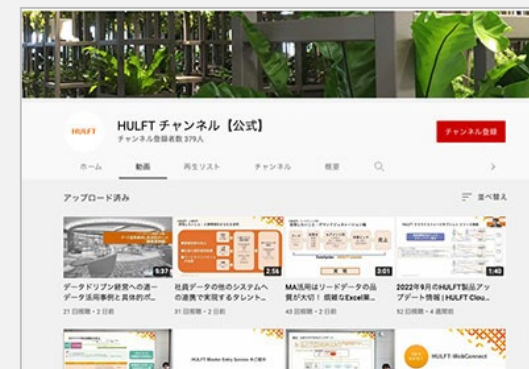


YouTube HULFTチャンネル【公式】

OPEN

YouTubeでHULFT、DataSpider ServistaをはじめとするData Management Solution 製品群を、動画で紹介しています。各製品について、動画で学ぶハンズオンセミナーも公開中です。

<https://www.youtube.com/channel/UCrLzPF5gb0MgKqeXVNIh9mQ/>



HULFT Square マニュアル

HULFT Squareの概要から各機能の詳細まで、HULFT Squareについて知りたい情報を掲載しています。



HULFT Squareサービスサイトにログイン後、[サポート] > [ドキュメンテーション]を選択

HULFT Technical Support Site

OPEN

お客様から寄せられた質問とその回答や技術用語について紹介しています。またライセンス体系、購入手続き、製品機能・サービスなど、ご購入を検討するうえでのFAQを集めたページです。

<https://www.hulft.com/tech-support/>

<https://faq2.hulft.com/>



各種コンテンツ

製品事例

OPEN

HULFT、DataSpider Servistaをはじめとする
Data Management Solution 製品群の導入事例を紹介しています。



<https://www.saison-technology.com/casestudy/>

お見積り・ご相談

OPEN

HULFT Squareに関するお見積り、各種ご相談は、担当営業または、こちらのフォームよりお願いいたします。

<https://www.saison-technology.com/contact/hulft/hulft-square/>



myHULFT

OPEN

評価版利用や各製品のダウンロード、ご利用のライセンスの管理のほか、セミナー/研修のお申込、各種お問い合わせができるお客様ページです。



<https://his.hulft.com/mypage/login/login/>

DMS Cube (ユーザーコミュニティ)

OPEN

データマネジメントに興味のある人が集い、交流できる場所として誕生したコミュニティサイトです。HULFT Squareを活用したデータ連携の記事や、HULFT製品群 (DataSpider含む) の知っていると便利なTipsや技術者認定資格対策講座を公開しています。





< 免責条項 >

本資料の内容は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されているものであり、今後予告なしに変更されることがあります。よって本資料使用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願いいたします。

なお、本資料に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。